令和５年１２月２７日

公益財団法人いばらき中小企業グローバル推進機構

令和５年度受注企業実態調査結果（概要）

標記調査の結果を下記のとおり取りまとめましたので、お知らせします。

記

１　調査概要

(1)　調査目的‥‥‥‥‥受注企業の生産・経営状況等の実態を把握して今後の中小企業振興の一助とする。

(2)　調査対象‥‥‥‥‥県内の中小製造業 1,366 事業所

(3)　調査方法‥‥‥‥‥郵送・Web によるアンケート方式

(4)　調査時点‥‥‥‥‥令和 5 年 10 月 1 日現在

(5)　回答状況‥‥‥‥‥回答企業　346 事業所（25.3%）

２　調査結果の概要

・受注量は、「増加した」とする企業が、昨年比約 1 割減の約 2.5 割となり、「減少した」とする企業が約 0.8 割増の４割となった。また、収益性が「良くなった」とする企業が２割強である一方、「悪くなった」とする企業は４割近くまで増加している。

・経営上の問題点では、６割超の企業が「受注量の確保」、半数以上の企業が「人材不足」としている。また、「人件費の上昇」とする企業の割合も２年連続で増加している。

・海外への輸出については、「現在、輸出を行っていないし、今後も輸出の予定はない」が７割強と最も多くなっているが、「現在、輸出を行っていないが、輸出に興味がある」は、２年連続で増加し、既に輸出をしている企業と合わせると、２割強となっている。希望する支援としては、「補助金・助成金」等を期待する声が多い。

・機構事業に対する要望は、「助成金制度の拡充」、「販路拡大支援」、「人材確保」が多い。

３　主な調査結果

(1)　受注量・受注単価・収益性の動向

・受注量は、「増加した」が24.9%　（前年比 10.1ポイント減）

・受注単価は、「増加した」が39.5%　（前年比　1.0ポイント増）

・収益性は、「悪くなった」が38.7%　（前年比　3.5ポイント増）

(2)　経営上の主な問題点

・「受注量の確保」が、65.6%　（前年比　7.0 ポイント増）

・「人材不足」が 51.9%　（前年比　0.6 ポイント減）

・「石油・原材料価格の上昇」が、42.0%　（前年比 13.2 ポイント減）

(3)　海外への輸出について

・「現在、輸出を行っている」が10.7%、「現在、輸出を行っていないが、輸出に興味がある」が11.8%。

・今後輸出に取組むために充実してほしい支援策は、「補助金・助成金」が63.4%、「コーディネーターによる商社等とのマッチング」が28.2%。

(4)　支援策の要望

・機構事業の中で今後充実して欲しい支援策は、「助成金制度の拡充」が60.1%、「販路拡大支援」が 52.0%、「人材確保」が 32.5%。

【お問合せ先】

（公財）いばらき中小企業グローバル推進機構　経営基盤支援課　　鈴木、福田

〒３１０－０８０１　水戸市桜川２－２－３５　　茨城県産業会館９階

ＴＥＬ：０２９－２２４－５３１７　　Ｍａｉｌ：　kigyo@iis－net.or.jp